

神奈川県立神奈川病院だより

基本理念 私たちは地域の皆様から信頼される病院づくりに努め常に新しく良質な医療の提供をします



手術室の窓の中の秋

第71号 目次

- | | | | |
|------------------------|-----|----------------------------|---|
| ○市民公開講座・・・・・・・・・・・・・ | 2-3 | ○新人看護師として、新人社会人として・・・・・・・・ | 6 |
| ○研修生活を終えて・・・・・・・・・・・・・ | 4-5 | ○地域医療機関紹介・・・・・・・・・・・・・ | 7 |
| | | ○各科診療担当表・・・・・・・・・・・・・ | 8 |

神奈川病院主催の市民公開講座は、新型コロナウイルス感染症の流行を受け開催を中止していましたが、この度4年ぶりに再開しました。

新型コロナや夏の食中毒など、感染症は数多くありますが、家庭で実践できる感染症予防は意外と知らないことがあります。そこで今回は、感染予防を体験しながら楽しく学べる企画を考えました。テーマは「明日から実践できる感染症対策!～家庭で役立つ感染症予防のポイント～」です。

はじめに、参加者の方にご協力いただき、手に蛍光剤を塗っていただきました。20分後に特殊なライトで照らしてみると、顔や髪の毛、マスク、服、バックなど、蛍光剤があちこちに広がっている様子を、実際に目で見ることができました。もし手がばい菌で汚れていたら、汚れはどんどん広がっていくでしょう。



*御本人様より掲載の許可を頂いております

次に、吐しゃ物に似せた疑似吐物を使って、吐しゃ物の処理を体験していただきました。体験は、会場で手上げしていただいたお2人をお願いしましたが、とても上手に処理されていました。体験後は参加者全員で、吐しゃ物を広げずに拭きとる方法や、自分が感染しないための注意点など、大切なポイントをおさらいしました。

そして最後に、もしご自身やご家族がインフルエンザや新型コロナ、ノロウイルスなどの感染症にかかってしまった時に、家庭でできる気を付けたい感染対策のポイントをお伝えしました。

家庭でできる感染症対策は、少しの工夫や気づかいでできることがあります。感染症に負けず、元気に充実した毎日をすごしましょう！



今回一聴講者として講座を聴いたのですがあっという間の60分でした。

皆様、お店の入り口に置いてある消毒スプレーでいつもどのように消毒していますでしょうか？私は手のひらにシュシュと2回程度付け手のひらでこすって終わりだったのですが、実は手のひらに受けた消毒液にもう片方の手の指先を垂直に押し当てゴシゴシするのが一番効果的な方法だったんです。指先は汚れが残りやすいとのことで、知っているようで知らなかった手洗い方法、これを聴いてからは手を洗うたび指先、忘れないようにしています。



また、当院職員が見事な演技でおう吐（風に）した液体を会場の方お二人に拭き上げ処理していただきました。手袋を二枚重ねで使用したり、清掃中わざと職員が液体を踏んで範囲を拡げたのも見逃さず拭き取っていたり、感染管理認定看護師も褒める見事な手際の良さでした。



参加していただきました方のうちお一人にお話を伺ったところ、普段福祉施設にお勤めでいらっしゃるっていて、過去同様の講習会に参加された経験があるとのことでした。ただ今回の講座は『もし家族がノロウイルスにかかってしまったら』と身近な話題を取り扱っていて、どんな洗剤がいいのかなど家庭で出来る対策を聴いたのがとても良かったと仰っていただきました。

次回は11月に違うテーマで実施する予定です。また多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

研修生活を終えて

呼吸器外科医師 渡部 希美

平塚市民病院から呼吸器外科研修で参りました渡部希美と申します。早いもので、神奈川病院での半年間の研修が終わろうとしています。今回お世話になった皆様に感謝の気持ちを込めて、研修修了のご報告をさせていただきます。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。私は平成3年に秋田県五城目町で生まれ、青森県弘前市で育ちました。高校卒業後は1年間の浪人を経て、岩手医科大学へ入学し、岩手県南の岩手県立胆沢病院で初期臨床研修を行いました。後期臨床研修の1年間は循環器内科に従事しましたが、関東で救急・外傷を勉強したいという欲が強まり、さいたま赤十字病院高度救命救急センターで3年間救急科専攻医として従事し、救急科専門医を取得しました。その後はサブスペシャリティとして一般外科を習得するという新たな目標ができ、平塚市民病院の外科専攻医となり、現在に至ります。このような医者人生を歩むとは正直、全く想像していませんでした。



神奈川病院に着任した当初は不安でしたが、全員顔見知りであットホームな雰囲気になり、すぐに馴染むことができました。また何より非常に多くの症例を経験することができ、当院を研修先にして正解だったと思います。肺癌だけでなく、気胸や膿胸といった良性疾患も多く扱い、縦隔腫瘍切除、胸骨正中切開法、EWS充填など今まで経験したことのない手技を間近で見ることができました。また手術も多数執刀させていただきました。自身が執刀した患者さんが元気に退院されると嬉しいのは勿論、この上ない達成感を得ることができましたし、自信に繋がりました。この経験は人生の糧となったと思います。指導医の杉浦先生をはじめ、橋詰先生、藤本先生、大村先生には大変感謝しております。また研修中は呼吸器内科の先生方にもお世話になりました。気管支鏡検査を基礎からみっちりご指導いただき、結核・気管支喘息・COPDといった内科疾患についての知識もブラッシュアップできましたので、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

自身が申し上げるには大変恐縮ではございますが、当院は学術活動にも力を入れており、刺激になりました。特に杉浦先生は臨床上の疑問点を徹底的にお調べになり、多数の論文を執筆されています。「論文を執筆しなければ今いる施設に貢献したことにはならない。」との厳しいお言葉をいただき、感銘を受けました。そのため自身も論文を執筆することに決め、四苦八苦しながら執筆しております。既にめげそうですが、ア

クセプトされるように頑張ります。他に良かった点としては、優秀なコメディカルが多く、信頼して患者さんを任せることができたことです。集中治療室が存在しなくても術後管理が可能な点、早期離床を徹底している点には驚きました。



さて話は変わりますが、一般的に外科系は手技ばかりに着目されがちです。しかしながら耐術能を客観的に評価し、適切な術式を決め、適切な術後管理を行い、合併症が生じた場合は迅速に対応する能力も備わっていないと、意味がありません。そのため非常にハイレベルなことをしていると日々感じておりますし、目標を達成できなかつたり、期待に応えられなかつたりしたときは、次回どうすればよいのかを振り返る必要があります。しかしながら、神奈川病院や平塚市民病院の外科系の先生方はこの考えが根底にしっかりとあり、個々の患者さんに合ったマネジメントをできていることから、目標にしたいと考えております。また、昨今はロボット手術の時代になりましたが、まだまだ開胸、開腹、鏡視下手術を選択すべき症例が多いことも事実で、自身の専門としたい救急領域、外傷では後者が望まれます。やや時代とは逆行しているかもしれませんが、それらの手技習得を第一優先にして、初心を忘れずに頑張りたいと思います。



10月からは平塚市民病院に戻りますが、唯一の心残りは秦野の雄大な絶景を見られなくなることです。当院までは平塚から車で通勤していたので、毎日40分弱程度かかっていましたが、運転中に見える景色が故郷のそれと似ているところがありました。自身を懐かしい気持ちにさせてくれ、時には励ましてくれましたので、通勤は楽しかったです。それでは半年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。またお会いできる日を楽しみにしております。本当にありがとうございました。

「新人看護師として、新人社会人として」

8病棟看護師 高橋 紀彩

4月より新社会人として働きだしてからのこの数ヶ月は慣れない環境や初めてのことで緊張の毎日でした。4月はできなかった医療的な処置が5月にはできるようになり、夜勤業務も始まるにつれて「看護師になったんだ」という嬉しさを実感するようになりました。

私は、重症心身障害児（者）病棟に配属となり、医療的ケアが必要な患者様を対象に看護を提供しています。言語的な会話での意思疎通が難しく、本人に合ったアイコンタクトやスキンシップで思いを伝え、汲み取ることを大切にしています。

初めは、コミュニケーションの取り方や接し方が分からず、患者様から訴えがないと思って看護をしていました。モニターの急なアラーム音にも戸惑っていましたが、患者様の特徴を先輩方からアドバイスいただき、日々患者様と関わっていく中で、変化に気づけるようになってきました。患者様は何かしらの形で私たちに意思を伝えてくれています。それを感じ取り、考え、看護ケアに繋げることが大切だと実感しています。



段々仕事に慣れてくると学校では教わってこなかった座学と実践の違いや、看護師ではあるけれど一人前ではない自分のスキル・知識不足に責任を感じるようになりました。ですが新人看護師に起こり易い事故を想定した研修や同期とお互いの新生活、仕事の悩みや喜びを語り合う蕎麦打ち体験の機会があったり、また先輩看護師に相談しやすい教育体制や環境が整っていることで、自分が今学ぶべきことに集中して仕事ができていると感じています。



働くうえで報告・連絡・相談は患者様も自分自身を守るためにも必要なスキルです。その場の状況を正確に伝えられる、常に学ぶ姿勢を持ち続けられるそんな看護師でありたいです。看護師を目指した気持ちや、今感じている初心の気持ちを忘れず、新社会人として看護師として精進していきたいと思っています。

秦野市薬剤師会



秦野市民の日「子供薬剤師体験」



薬剤分注

当会は現在秦野市市内の58薬局、129名で構成される団体で、戦前より薬種商組合として活動していましたが1960年薬剤師法の整備に伴い、同時に薬剤師による職能を発揮して、秦野市民や市内医療機関利用方の処方箋による調剤、服薬指導だけでなく、健康維持、福祉、保健衛生の向上に寄与することを目的として活動を展開しております。

また、上記の目的を達成するために、「学術研修」「公衆衛生」「防災」「学校薬剤師」「リスクマネジメント」「学生研修」「薬薬連携」「医療介護保険」など多くの委員会を設置し、広範囲かつ多様な活動を展開しております。

直近では、秦野市体育館でのコロナワクチン集団接種における、薬剤分注・医療衛生機材の供給管理・医療産廃処理、秦野市民の日会場における「子供薬剤師体験」の実施、イオン秦野店での日赤献血事業への協力、小田急線秦野駅周辺での薬物乱用防止キャンペーンへの協力など積極的に活動しております。

特定非営利活動法人 秦野市薬剤師会

会長 大島 正

住所 〒257-0035

神奈川県秦野市本町2-1-32 三宝ビル4F

TEL 0463-85-3434 FAX 0463-85-3435

E-mail hatayaku@lily.ocn.ne.jp (秦野市薬剤師会 事務局)

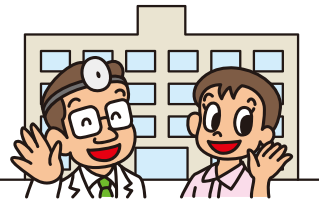
各科診療担当医表

令和6年10月1日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金	科別	曜日	月	火	水	木	金	
一般外来系	内科	総合内科	小林(康) 再診のみ 中村	荒木	大和田	沖	小林(康)	一般外来系	小児科	萬木(晋)	萬木(暁) (9:00~)	佐藤(ひ)	伊藤(直) (9:00~)	萬木(晋)
		消化器内科	後町		[予]中島 (13:30~)	後町				石井 (9:00~)	渡辺(博) (9:00~)	渡辺(博) (9:00~)	石井 (9:00~)	
		糖尿病内科								[予]渡辺(博) (14:00~)	[予]萬木(晋) (13:30~)	[予]萬木(暁) (13:30~)		予防接種 (第2・第4のみ)
		循環器内科	内田 野村(秀) (9:00~)	吉田 (9:00~) 藤井	松崎(秀)	森永井 (9:00~) [再] [予]内田	森木		[予]佐藤(ひ) (14:30~) [第2のみ 15:00~]		[予]渡辺(博) (14:00~)			
		呼吸器内科	大久保 浅野 (9:30~)	河合 田中	堀江 (9:30~)	布施川 荒木	大久保 浦野 (9:30~)				[予]松崎(淳) (第1のみ9:00~) (それ以外14:00~)			
		神経内科		[予]大貫 (14:30~)									[予]杉山 (10:00~11:00) 第3のみ	
	外科	脳神経外科		齋藤(良)	小杉 (9:30~)	齋藤(良) (9:30~)初診のみ			てんかん外来 【第3のみ】					
		外科			前田	[予]櫻井 (13:00~)	鈴木(俊)		睡眠時無呼吸 外来		[予]荒木 (13:00~) 再診のみ			
		消化器外科			杉浦	藤本			救命救急科			青木		
		呼吸器外科							透析室					山内 (13:00) 【第1-3】
整形外科		山本(宗)	山本(宗) [装具外来]	野尻 (9:00~)	清水 (9:30~)	渡辺(隆) (9:00~)								
系	泌尿器科	浅沼				田野口								
	皮膚科			岩崎 (9:15~)		堀川 (9:15~)								

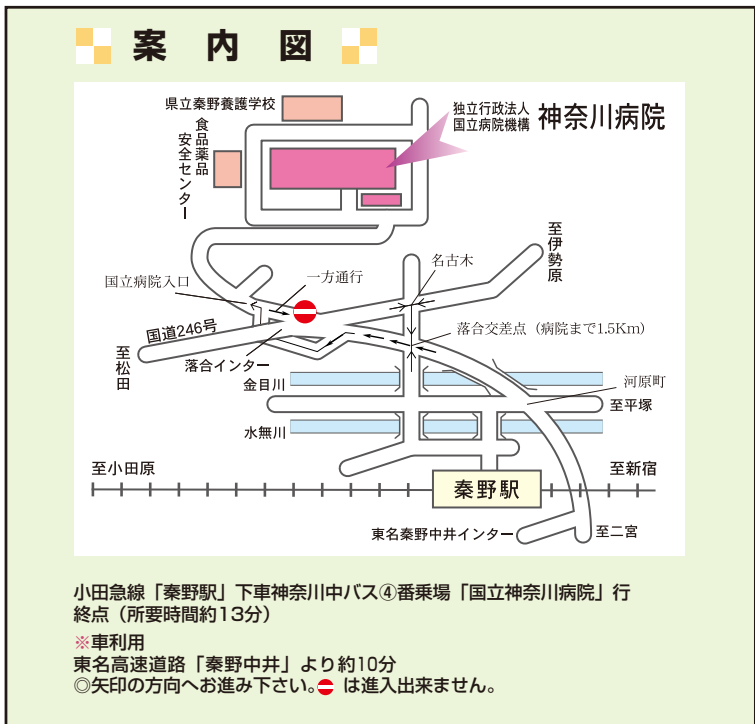
【担当医表の表記について】

- ① 括弧書き (: ~)
…診察 (開始) 時間
- ② 【〇〇のみ】…特定の診察日
- ③ 【予】…予約制



※担当医表に時間の記載がある日は、記載されている時間内の診療となりますのでご確認をお願いいたします。

発行責任者：中村 守男 編集：広報委員会



 独立行政法人 国立病院機構 **神奈川病院**

〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1
TEL 0463-81-1771 FAX 0463-82-7533
URL <https://kanagawa.hosp.go.jp>